

---

# 大学教育学会ニュースレター

No.101 2016.2.5

---

一般社団法人大学教育学会 (Japan Association for College and University Education)

事務局：〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原 2-8-20-204

TEL/FAX：(042) 707-8112

郵便振替口座：00210-9-102857 一般社団法人大学教育学会

E-mail: jacue.office@gmail.com URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

---

## 大学教育学会 第38回大会(2016年)案内

統一テーマ

伸びる大学の教育力

ー成果を出せる大学にはどのような教育力が必要なのかー

趣 旨

世界経済の見通しが不透明になる中、グローバル化の波が押し寄せ、日本社会および国際社会からの大学への期待とプレッシャーがよりいっそう大きなものとなっている。少子化の中で18歳の半数以上が大学へ進学してくる一方、2018年以降、大学淘汰の足音が聞こえてくる。1991年の設置基準の大綱化以降、乱軌道の大学改革そして大学教育改革を経る中、実践の現場では、教授パラダイムから学習パラダイムへ発展的な拡張が見られ、アクティブラーニングを中心とする新しく多様な教授法や従来からある方略の洗練化、新たなテクノロジーの利用、そして地道で着実なFD・SD活動が蓄積されてきている。さらには、教養教育・一般教育・専門教育の関係の問い直し、学士課程への学的考究、大学教育評価ならびに大学評価に加え、大学改革の中でテーマとして確立されつつある初年次教育・キャリア教育・国際教育といった分野についても着実に実践と研究が積み重ねられてきている。学習成果とその測定、実践の効果検証、学びと成長に対する基礎的な調査研究といった取り組みに関心が集中・特化していく中で、近視眼的になること無く、大局的展望に視野を開き、今一度、その手前の教育を含めて大学教育を考えていくことが重要であろう。学生の学習を見据え、確かな成果を残していくためには、どのような教育力が大学に求められるのか。これまでに蓄積・展開してきた大学教育の諸テーマの知見を結集し、大学教育の今後の方向性と可能性を問うていく場にしたいと考えている。

### 1. 開催期日および会場

期 日 2016(平成28)年6月11日[土]、6月12日[日]

会 場 立命館大学大阪いばらきキャンパス(大阪府茨木市岩倉町2-150:JR茨木駅下車)

A棟・C棟 : ラウンドテーブル、自由研究発表

B棟 : 受付、事業報告会、基調講演、公開シンポジウム、情報交換会

## 2. 大会日程

### 第 1 日 : 6月11日 [土]

8:45	10:00	12:00	13:00	13:50	14:10	15:30	15:45	17:45	18:00	19:30
受付	ラウンド テーブル	昼食	事業 報告会	基調講演		公開 シンポジウム		情報 交換会		

↑  
9:15-9:50 オリエンテーション

- 8:45 受付開始
- 9:15 - 9:50 初めて参加する人のためのオリエンテーション
- 10:00 - 12:00 ラウンドテーブル
- 12:00 - 13:00 昼食
- 13:00 - 13:50 事業報告会
- 13:50 - 14:10 休憩
- 14:10 - 15:30 基調講演 大野高裕氏（早稲田大学・理事）  
講演題目「Waseda Vision 150 による教育力向上へのチャレンジ」
- 15:30 - 15:45 休憩
- 15:45 - 17:45 公開シンポジウム  
「伸びる大学の教育力は何が違うか—データに基づいて検討する—」
- 18:00 - 19:30 情報交換会

\* 情報交換会終了後に、有志による若手研究者交流会を予定しております。場所等については、次号のニュースレター（No.102）にてお知らせいたします。

### 第 2 日 : 6月12日 [日]

9:00	9:30	12:00	13:00	15:00
受付	自由研究発表 I	昼食	自由研究発表 II	

- 9:00 受付開始
- 9:30 - 12:00 自由研究発表 I
- 12:00 - 13:00 昼食
- 13:00 - 15:00 自由研究発表 II

### 関連行事 : 6月10日 [金]

- 14:00 - 16:00 第 2 回理事会
- 16:30 - 18:00 定時代議員総会
- 16:15 - 18:15 プレワークショップ\*

\* 本学会活動の大学教育改革への貢献の可視化と会員の能力開発を促すため、今大会よりプレワークショップ（定員制、有料）を実施いたします。今大会では「アクティブラーニング入門（中井俊樹、愛媛大学）」と「ルーブリック入門（佐藤浩章、大阪大学）」の 2 種類を予定しております（同時刻開催）。申し込み方法等の詳細は次号のニュースレター（No.102）にてお知らせいたします。

## 3. 基調講演

講師 : 大野 高裕 氏（早稲田大学・理事）

演題 : Waseda Vision 150 による教育力向上へのチャレンジ

司会 : 安岡 高志 氏（立命館大学 本大会実行委員長）

大野高裕氏は、早稲田大学の教務部長・国際部長、留学センター長、ポータルオフィス長、芸術科学センター長などを歴任なさっている。とくに、早稲田大学の全体の方向性を考えるお立場から、創立150年（2032年）のあり方を展望した Waseda Vision 150 に関わってこられた。

今日の大学教育改革では、課題がますます多岐にわたり、焦点が分散化しかねない危うさがある。大学執行部ばかりでなく大学教職員一人ひとりが長期的・大局的に考えること、そのための視点を養うことが、ますます重要になっていくであろう。そうした現状を踏まえ、大野氏からは、長期的なビジョンをどのように決定し、ビジョンを実現するために何をすべきかといった点について、具体的な学生の姿を織り交ぜつつ、お話しいただく予定である。

#### 4. シンポジウム「伸びる大学の教育力は何が違うかーデータに基づいて検討するー」

今日、国際的にも大学の教育力に注目が集まっており、とくに学生の学習成果の向上が重要な論点になっている。さらに、説明責任の観点から、それらの学習成果を挙証し結果の透明性を高めることが、社会における公器としての大学の課題となっている。大学の教育力の証としての学生の成長と、それらを確かにする大学の力量の強化の双方において、我々は絶え間ない検証の視点を投じる必要があるだろう。個々の大学には、エビデンス（データおよび情報）に真摯に向き合いながら、意思決定に有用な情報を取り出しつつ、さらなる伸長への実行計画につなげていくことが求められている。では、それを可能とする条件とは何なのか？ 教育力を測定し得る指標をいかに考えればよいのか？ 本シンポジウムでは、こうした21世紀初頭の大学が直面する課題に関して、四名のシンポジストからご報告いただく。まず、教育力を高めるための大学経営のあり方について吉武氏からご報告いただき、次に、IRや教学を担う職員の視点から大学の戦略的な教育力の追求について山本氏よりご報告いただく。さらに、日向野氏からは学生の成長の可視化を通じた大学の教育力の挙証についてご報告いただき、最後に、大学の教育力の伸長に向けた重層的なアプローチについて佐藤氏からご報告いただく。指定討論者の濱名氏からは、高等教育研究および私学経営の立場から各論者に対するコメントをいただく。

司 会 : 鳥居 朋子 氏 (立命館大学)

指定討論: 濱名 篤 氏 (関西国際大学)

大学経営の観点から : 吉武 博通 氏 (筑波大学)

IR と教学を担う職員の観点から : 山本 幸一 氏 (明治大学)

成果の見える教育実践の観点から : 日向野 幹也 氏 (立教大学)

高等教育開発の観点から : 佐藤 浩章 氏 (大阪大学)

#### 5. 「ラウンドテーブル」申し込みについて

本学会は、多様な専門分野の方々が集まって大学教育に焦点をあててその充実を図ることを大きな目標の一つに掲げています。その一環として行う「ラウンドテーブル」は、会員による研究・実践活動の活性化を促すとともに、学会全体で共有できる研究課題を発掘し、複数の視点から議論を深めていくことを目的としています。

##### 発表資格

- (1) 企画者、報告者（話題提供者・発題者）、司会者となる資格を有するのは本学会個人会員に限ります。ただし、企画者は複数の所属機関にわたる複数名で構成してください。企画者が報告者や司会者を兼ねることは可能です。
- (2) 同じ会員が複数の企画に、企画者、報告者、司会者として参加することはできません。
- (3) 1 テーブルの構成員（企画者・報告者・司会者）の数は最大 10 名までとなります。
- (4) 課題研究委員会が企画するラウンドテーブルについては、本学会個人会員でなくても報告者（話題提供者・発題者）になることができます。

## 申し込みおよび報告

申し込みの要領・手順については、ニュースレター後掲「自由研究およびラウンドテーブルの発表申し込みについて」をご参照下さい。

ラウンドテーブルの企画者は、大会終了後、編集委員会が指定する学会誌の『ラウンドテーブル報告』に投稿することができます（本大会分より、従来とはラウンドテーブルの学会誌での扱いが変わる予定です）。

## ラウンドテーブルの調整及び評価

ラウンドテーブル全体の調整及び評価は企画・実行委員会が行います。

第一に、企画・実行委員会において、企画者、発表者、司会者として会員資格を満たしているかを確認いたします。第二に、企画・実行委員会が、以下の項目を中心にテーマの適切性や重複状況を総合的に評価いたします。また、会場の都合を踏まえ、ラウンドテーブルの数を制限することがあります。

- ・ 1テーブルの構成員（企画者・報告者・司会者）の人数（最大10名まで）
- ・ 発表者の所属機関の多様性
- ・ 見込まれる参加者数
- ・ 成果の発表状況（論文、シンポジウムでの報告、出版等）

以上の評価結果は、申し込み年度の3月中旬を目途に企画者に通知いたします。

## 6. 「自由研究発表」について

### 発表資格

- (1) 発表申し込み及び登壇する資格を有するのは本学会個人会員（学生会員を含む）および団体会員である団体に所属する個人に限ります。ただし、共同研究者として非会員をプログラム、要旨集、当日の投影資料、配付資料に記載することができます。
- (2) 個人会員（学生会員含む）は、1名1題に限り登壇者となることができます。ただし共同研究者として他の発表に名を連ねることはこの限りではありません。
- (3) 団体会員は、当該団体に所属する任意の個人1名1題に限り、登壇者となることができます。
- (4) 非会員を共同研究者とした際は、プログラム、要旨集、当日の投影資料、配付資料に、必ず「非会員」であることを明記してください。
- (5) 「個人会員（学生会員を含む）」とは、①指定期日以前に、締切日を含む年度までの会費を全納した者、あるいは、②発表申し込み締切日までに、入会手続きを取り、当該締切日を含む年度の会費を前納した者を指します（後述の「申し込みに関する留意事項」を参照）。
- (6) 企画委員会は発表資格を満たしているか判断し、申し込み年度の3月末までに発表申込者に通知します。

### 発表内容

- (1) 大学教育に関する未発表の研究で、単なる実践報告ではなく、一定程度の成果の評価や結論が示されていることが求められます。
- (2) 大学教育学会誌における関連先行研究のレビューをふまえたものであることが求められます。
- (3) 共同研究の成果発表において、2つ以上の発表時間枠の利用を希望する場合は、発表題目の副題に内容を必ず明示すること。主題および副題に連番を付すことは認めません。
- (4) 発表題目は、研究の内容と目的を明示するものであり、申し込み・要旨集録・当日発表のいずれも同じでなければなりません。

### 発表時間・会場

- (1) 発表15分と質疑応答5分の計20分です。
- (2) 共同研究の成果発表であっても発表時間は(1)と同一とし、延長等の措置は取りません。ただし、「発表内容(3)」のとおり、適切な形で内容を分割し、別の発表とすることは妨げません。

- (3) 申し込みの発表題目と発表内容の概要を参考に、実行委員会が会場分けを行います。  
 (4) 会場ごとに全発表の終了後に「総合討論」の時間を設けます。発表者は必ずご参加下さい。

### 申し込みに関する留意事項

- (1) 団体会員の資格で発表する場合は、団体名での発表になります。電子申請の際の発表申し込みの画面で必ず機関名をご記入下さい。  
 (2) 発表申し込み後に正当な理由なく途中辞退を行った場合、今後発表を認めないことがあります。

## 7. 大会企画・実行委員会

企画委員長	沖 裕貴 (立命館大学)	実行委員長	安岡 高志 (立命館大学)
企画副委員長	徳川 信治 (立命館大学)	事務局長	沖 裕貴 (立命館大学)
企画委員	飯吉 透 (京都大学)		鳥居 朋子 (立命館大学)
	山田 礼子 (同志社大学)	事務局次長	川那部隆司 (立命館大学)
	三浦 真琴 (関西大学)	実行委員	藤本 学 (立命館大学)
	佐藤 浩章 (大阪大学)		河井 亨 (立命館大学)
	高橋 哲也 (大阪府立大学)		土岐智賀子 (立命館大学)
	近田 政博 (神戸大学)		松井かおり (立命館大学)
	安岡 高志 (立命館大学)		藤原 将人 (立命館大学)
	鳥居 朋子 (立命館大学)		吉岡 路 (立命館大学)
	林 徳治 (立命館大学)		青山 佳代 (立命館大学)
幹事	圓月 勝博 (同志社大学)		宮浦 崇 (九州工業大学)

## 自由研究およびラウンドテーブルの発表申し込みについて

### 発表申し込み要領

申し込み締め切り：2016年2月29日（月）23:59

学会ウェブサイトの「会員ページ」からお申し込みください（下記の申し込み手順を参照）。

### 発表申し込み手順

大学教育学会ウェブサイト (<http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>) にアクセスし、指示に従ってください。会員ページ入口でIDとパスワードの入力が求められます。ID、パスワードをお忘れになった方は、学会事務局 ([jacue.office@gmail.com](mailto:jacue.office@gmail.com)) にお問い合わせ下さい。

申し込み時には、発表の種別として「自由研究」か「ラウンドテーブル」を選択していただきます。「自由研究」「ラウンドテーブル」ともに、以下の情報を入力していただきます。

- ① 発表題目（申し込んだ発表題目を変更することはできません）
- ② 発表内容の概要（日本語で300字程度、または英字（半角）120語程度）
- ③ 発表内容のカテゴリー（選択式、「自由研究」の場合のみ）

「自由研究」「ラウンドテーブル」ともに発表の可否が決定されると、「可否通知メール」が申込者宛に送信されます。発表を許可された場合は、会員ページの「お知らせ」欄に表示される要旨集録原稿の提出案内に従い、要旨集録原稿を4月10日（日）23:59までにアップロードして下さい。ラウンドテーブルの企画者は、発表者の氏名、氏名フリガナ、所属についても要旨集録原稿に掲載して下さい

### 【重要】発表申し込みに関する留意事項

- (1) 発表申し込みの際は、学会ウェブサイト上にある「大学教育学会大会実施要綱」を必ず確認してください。

- (2) 現会員が発表申し込みをする場合は、2015年度分までの会費を2016年2月22日(月)までに完納する必要があります。
- (3) 新たに本学会に入会し、第38回大会にて自由研究発表及びラウンドテーブルでの企画・発表を希望する方は、必ず2016年2月12日(金)正午までに入会手続きを済ませ、2015年度分会費を2016年2月22日(月)までに納入してください。会費納入が確認された後に会員番号を発行します。
- (4) 指定期日までに会費を納入されない場合には、申し込みを受理いたしません。
- (5) 会費納入は、郵便払込票にて「00210-9-102857 一般社団法人大学教育学会」までお願いします。
- (6) 会費納入状況の問い合わせ先  
大学教育学会 学会業務取扱センター  
TEL : 03-5981-9824 / FAX : 03-5981-9852  
E-mail : g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp

### 【重要】会員番号記載について

発表・企画資格の会費納入状況に基づく確認のため、申し込み時に会員番号の記載を義務付けております。学会名簿をご参照のうえ、ご記載願います。なお会員番号が不明な場合は、学会事務局 Tel:(042)707-8112 / E-mail:jacue.office@gmail.com までお問い合わせ下さい(開室時間:月・水・金曜日 9:00~17:00)。

また、開室時間外については、大学教育学会学会業務取扱センター Tel:(03)5981-9824 / E-mail : g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp にてお問い合わせを承っております。

### 【重要】参加申し込み等について

第38回大会の参加ならびに情報交換会の申し込み、宿泊予約や託児室利用等の詳細につきましては、次号のニュースレター (No.102) にてお知らせいたします。

## 大会案内サイトについて

本学会ウェブサイトの「最新情報欄」に「大学教育学会第38回大会のご案内」を掲載いたしました。ここから「大学教育学会第38回大会(立命館大学)」のページにアクセスできます。

大学教育学会 URL <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

発表申し込みに関してのお問合せ先は、下記のとおりです。

### 第38回大会(立命館大学)に関するお問い合わせ

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学教育・学修支援センター 教務課気付  
大学教育学会 第38回大会実行委員会

E-mail: [jacue38@gmail.com](mailto:jacue38@gmail.com)

※メールの件名には、「自由研究」「ラウンドテーブル」または「大会発表に関する問い合わせ」とご記入ください。

## ＝事務局から＝

### ● 第38回(2016年度)大会について

第38回大会は、2016年6月11日(土)・12日(日)に立命館大学大阪いばらきキャンパスにて開催予定です。本ニュースレター(NL101号)にてラウンドテーブルや自由研究発表のお申し込みについてご案内しています。詳細をよくお読みになり、本学会ウェブサイトよりお申し込みをお願いします。

尚、次号のニュースレター(NL102号、4月中旬発行予定)にて参加申し込み及び参加費・情報交換会費の払込について詳細をご案内します。払込取扱票も同封予定です。

### <発表申し込みの際の注意事項>

#### 1. 申し込み締切 2016年2月29日(月) 23:59

締め切り時間間際のお申し込みはアクセス集中により、正常にお申し込みが完了しないことがあります。お時間に余裕を持ってお申し込みくださいますようお願いいたします。また、締切を過ぎた場合のお申し込みは一切受理いたしませんのでご承知おきください。

2. 発表申し込みは、2015年度分までの会費が完納されていることが条件となります。

2月22日(月)迄【締切厳守】に会費納入の上、お申し込みください。会費が完納されていない場合は申し込みを受理いたしませんのでご承知おきください。

3. 現在非会員の方で発表をご希望の方は、必ず2月12日(金)正午迄【締切厳守】に入会申し込みを済ませ、理事会での承認を得た後に、2015年度(会期：2015年4月1日～2016年3月31日)会費を、2月22日(月)迄【締切厳守】にお納めいただく必要があります。

### ● 会費納入のお願い

今年度(2015年度)迄の会費が未納の会員は、速やかにご入金ください。

領収書につきましては、郵便払込票の受領書をもって替えさせていただきます。

年会費等郵便振替口座 00210-9-102857 「一般社団法人大学教育学会」

ご入金には郵便払込票をご利用ください。やむを得ず、銀行からご入金を希望される場合は、入金前に必ず、以下の大学教育学会 学会業務取扱センターまでその旨ご連絡下さい。

<「入退会・会員登録情報変更・会費納入状況」の問い合わせ先>

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1丁目24-1 第2ユニオンビル4F

TEL:03-5981-9824 FAX:03-5981-9852

E-mail:g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp

過年度会費の滞納がある場合は、学会誌の発送を見送る措置をとらせていただいております。納入状況は、学会ウェブサイトの会員ページにあります「会員情報の照会・更新」からご自身で確認可能です。

### ● 学会関連資料のご寄贈のお願い【アーカイブズ委員会】

特に探究している資料は、以下の通りです。学会事務局まで「着払い」でお送りください。

大会発表要旨集録等(1979,1981,1989,1990,1993,1998,2000,2001,2002,2003,2004年)

課題研究集会要旨集(1981,1982,1985,1986,1987,1988,1989,1992,1993,1998,2001,2003,2004,2005,2008年)

その他、一般教育学会時代の資料についてもご寄贈をお待ちしています。

### ● 2016年度課題研究集会について

2016年度課題研究集会は、2016年12月3日(土)・4日(日)に千葉大学・西千葉キャンパスにて開催されま

す。

### ● 住所変更等会員情報更新のお願い

ご住所、ご所属や役職等に変更がある方は、速やかに、学会ウェブサイトの「会員ページ」にあります「会員情報の照会・更新」からご自身でご変更のほどお願い申し上げます。ID(会員番号)・パスワードを紛失された方は、下記の大学教育学会 学会業務取扱センターまでお問い合わせください。

定期刊行物は、宅配業者DM便を利用しているため、転居にともなう転送はされず数週間後、事務局へ返送されてまいります。何卒ご協力をお願いいたします。

### ● メールマガジンの受信設定のお願い

現在、会員の皆様に年2～3回、大学教育学会メール通信(メールマガジン)を配信しております。

しかし、受信拒否や宛先不明を理由に返送されてくるメールが多数あります。ご登録のアドレスにおいて学会アドレスjacue.office@gmail.comより送信されましたメールを受信できるよう設定をお願い致します。



---

#### 【学会事務局】

〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原2-8-20-204

Tel/ Fax: 042-707-8112

E-mail: jacue.office@gmail.com

URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

#### 【入退会・会員登録情報変更・会費納入状況についてのお問い合わせ先】

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1丁目24-1 第2ユニオンビル4F

TEL: 03-5981-824 FAX: 03-5981-9852

E-mail: g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp